



4階渡り廊下(・▽・)イイネ!!

休み時間や放課後に4階の渡り廊下に出ると気持ちのいい季節になりました。例年だと南アルプスの山々が白くなり始める時期ですが、今年はまだその気配が感じられません。それでも中庭の樺は色づき、落ち葉も目立ちます。そして、その風景を眺めるように中庭のど真ん中に西高のシンボル「大空像」が空を仰いでいます。

最近夕方5時にもなると薄暗くなってきてもう冬も近いなあと感じますが、そんな中でもダンス部は元気よくダンスの練習をしています。そして、北館の3年次の教室の明かりが一層目立つようになりました。渡り廊下から覗くと（本当は5組前の廊下からの方が見やすいですが）、多くの3年次生が一心不乱に受験勉強に励んでいる姿が見て取れます。この光景もこの時期の西高の風物詩となっています。

さて、その「4階渡り廊下」は「西高の学園生活の象徴」ではないかと思います。テレビの学園ドラマではよく学校の屋上が舞台になってストーリーが展開されます。西高の屋上は普段立ち入ることができないので、その代わりに4階渡り廊下ではないでしょうか。その証拠に鳳凰祭のブロックビデオでは4階渡り廊下が必ず登場してきます。この「4階渡り廊下」ですが、実は2年次生、3年次生になるとあまり通らなくなるんです。2、3年次生のHR教室は北館、南館ともに2、3階で、授業が行われる教室もほとんどが3階以下ですから、4階に足を運ぶこと自体が少なくなります。そんなベストポジションが身近にある1年次のうちに、仲間とともに（または一人でも）たそがれてみるのはいかがでしょうか。



←4組前の廊下から北館を撮影しました。小さくて見えないけど、3年次生が教室に残って勉強している姿が多く見られます。3年次生が頑張っている姿を見ると、自分たちも頑張ろうと元気がもらえますね！

→4階渡りでたそがれる私の姿です(〜♪
1年次主任 平岩岳実



～11月行事予定～

日	曜日	A/B	予 定	日	曜日	A/B	予 定
1	金	B		16	土		
2	土		ベネッセ総合学力テスト	17	日		
3	日		文化の日	18	月	試験	第3回定期試験
4	月		振替休日	19	火	試験	第3回定期試験 第4回マナーアップ運動
5	火	A	履修本登録提出締切	20	水		県民の日
6	水	A		21	木	試験	第3回定期試験
7	木	A	県芸術文化祭パレード・グランドステージ	22	金	試験	第3回定期試験
8	金	A	校外清掃 冬季原付免許取得説明会	23	土		勤労感謝の日
9	土		土曜講座	24	日		
10	日			25	月		定期試験成績処理日
11	月	B	きずなの日 第3回定期試験時間割発表	26	火	A	
12	火	B		27	水	A	
13	水	B	生徒協議会	28	木	A	総探講演会
14	木	B		29	金	A	原付免許取得者集会
15	金	B		30	土	B	土曜講座

保護者の皆様へ

規則正しい生活 11月は前半にベネッセ模擬試験、後半に定期試験と大事な試験が続きます。西高生の中には勉強を頑張りすぎて、体調を崩してしまう生徒も見受けられます。心身が健康であってこそ、学習成果が上がってくるものと思われますので、生活リズムを安定させるようご家庭でもサポートしていただけますようお願いいたします。

2年次の履修本登録 来年度の履修本登録締切が11月5日となっております。10月には国際バカロレア科目の体験授業や、担任との二者懇談などを行い、文系・理系のコース選択や国際バカロレアを含めた選択科目などおおよそ決定したかと思われます。今後は来年1月の三者懇談で最終確認を行い、履修内容が確定しますので、ご承知おきください。

=====

◎先生方からの寄稿 今月は1組の担任 池田裕子 先生、副担任 志村泉 先生です。

=====

「む」「す」「め」「ふ」「さ」「ほ」「せ」

池田裕子

「本格的な和風の空間の中で練習の成果を発揮してもらおうと、初めて同寺で開催。厳かな雰囲気の中に、生徒たちが畳をたたく音が響いた。」(山梨日日新聞より)

先日、関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会県予選が身延山久遠寺で開かれました。上に引用したように山日新聞が取材をしてくれたのですが、その取材に来た記者さんの顔に見覚えが。
何と高3の時に担任をしていた元生徒だったのです。



「ふかりょーくん」と私が呼んでいたその彼は、「(「山梨の秘境」と言ったら怒られるかもしれませんが) 早川町から甲府にある高校まで休むことなく毎日片道2時間近くかけて通った、日本史好きの陸上部に所属する生徒でした。

大学では応援団に所属。日々厳しいトレーニングを重ね、極寒の正月の箱根路をはじめとする様々な大会の会場に駆けつけ、懸命に声を張り上げながら選手を鼓舞していました。

成人式に合わせて行われた同窓会以来でしたが、顔つきはすっかり「社会人」に。

「(高校の時は)『社会の先生になる』って言ってたじゃん!!」なんてイジリを入れつつも、良い写真を撮ろうと長時間畳に這いつくばって熱心にカメラを構える様子に、放課後のグラウンドを黙々と走る高校時代の姿が重なり、懐かしさと頼もしさを覚えました。

未来のことは誰にも分かりません。だけど人間の本質的なことは変わらないし、積み重ねたものはどのような場面においても、その人にプラスになってかえっていくんだなということを感じた再会でした。

『もののけ姫』の虚像

志村 泉

私がディズニー好きということは自己紹介でも発表したので多くの人が知っているかと思いますが、ジブリも好きです。皆さんは映画『もののけ姫』を観たことがありますか? 1997 年公開のジブリ作品で、公開当時、社会現象になりました。今でも多くの人に愛されており、ジブリ映画人気ランキングでは、『千と千尋の神隠し』となりの『トトロ』に次いで3位です。

この映画には、山犬に育てられた人間の子サン、呪いをかけられた青年アシタカ、動物たちと戦うエボシなどが登場し、人間と動物の戦い、そして人間と人間の戦いが描かれています。自然と人間の対立、生と死、平和と争い、このようなキーワードが見えてくる、非常に印象的な作品です。

さて、タイトルが『もののけ姫』ですから、主人公がもののけ姫と呼ばれるサンだと思っている人が多いかもしれませんが。しかし、宮崎監督は『アシタカ譚記(せっき)』というタイトルにしようと考えていました。譚記とは、伝説という意味合いだそうです。鈴木プロデューサーが『もののけ姫』の方がヒットすると考え、監督の意向とは別のタイトルを公表したそうです。つまり、この映画は、サンの物語ではなく、アシタカがどのようにして伝説の人となったのか、という話なのです。タイトルは重要ですね。

私たちの身の回りでも、思い込みで本来の姿が見えなくなっていることがあるかもしれません。本質を見抜くにはどうしたら良いのでしょうか。それには、知識と教養が必要です。よく言われることではありますが、多角的な側面から得る知識と豊かな感性が、それらを身に着けることに繋がると私は考えます。今、高校生という時期に、多くのことを学び、吸収したいですね。